

Science and Technology English I II

Day 202 “Tech Term” Meiji University

EX_202_19.pptx 17 Slides November 23rd, 2019

<http://mikami.a.la9.jp/mdc/mdc1.htm>

Renji Mikami

Renji_Mikami(at_mark)nifty.com [mikami(at_mark)meiji.ac.jp]

成績評価ガイドライン(秋学期から適用)



授業日	授業状況		小テスト演習レポート		試験	Full Score
	出席	無届 遅刻早退	期限内	期限後		
201	-	-	-		-	0
202	-	-	4	3	-	4
203-213	2	1	4	3	-	66
214	-	-	-	-	30	30
Sub Total	22	-	48	-	30	100

- 履修確定 Day203以降は授業取組状況点(Full 22)が付きます。無届遅刻早退の場合は各日1点になります。小テスト演習レポート点(Full 48) 最終日試験(Full 30)以上の合計 100点で総合的評価、60%以上を合格とします(Day201に出席し、レポートを提出した人は、**特別加算点**対象にします。)
- Q&A: 01/02- 履修登録の遅れ(変更)が成績評価への影響を減らします。**レポート提出は授業前でも欠席でもできます**。優れた演習レポート内容や授業取組(予習復習質問等)がみられる場合はさらに**特別加算点**を付与します。出席、レポート等は,Oh-o! Meiji システム ClassWeb を使用してください。

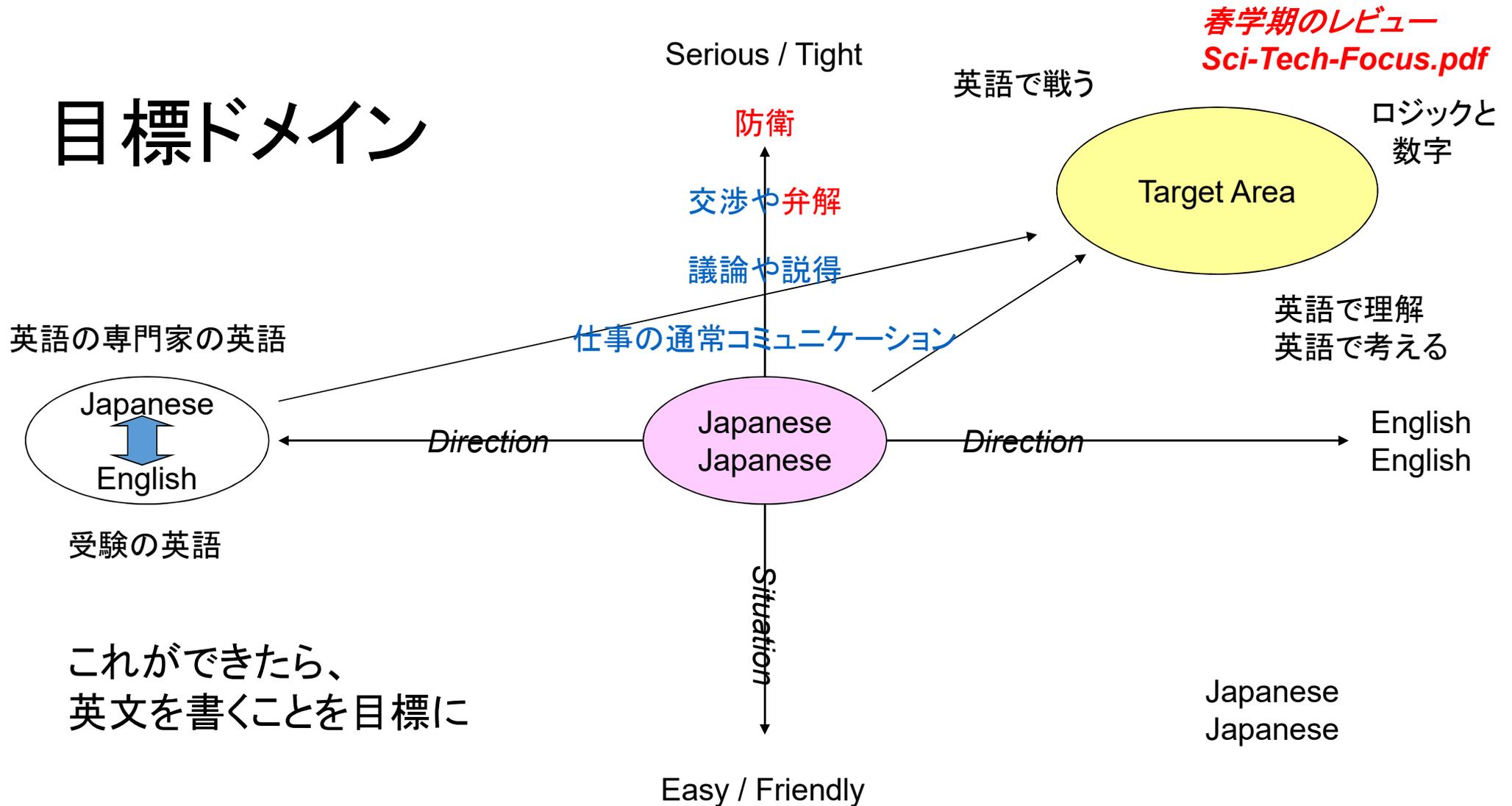
Day 201 Review 1

- 状況で変わる英語 – あなたをとりまく Situation によって変わる
- 相手が友好的 > 中間的 > 敵対的 > 相手に支配されている場合
- 日常・トラベル > 仕事 > 議論・説得 > 交渉・弁解 > 防衛
- 科学技術英語の Position – 仕事, 実戦的なレベル
- あなたも相手も忙しい(時間が限られている)
 - 短時間にたくさんの資料を読んで話を聞く必要がある
- 相手に伝わるように書き、話さなければならない
 - 正確 シンプル 論理的 スタイルとMetrics
- 相手からすぐ Reply / Feed Back がくるように考える

わかりにくいものは
聞いてもらえません
返事も返ってきません
相手も忙しいのです

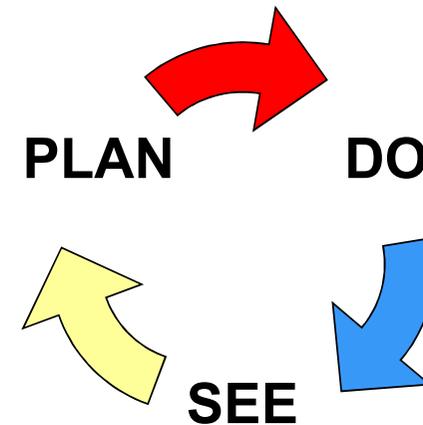
論文の査読も
パスしません
相手もたくさん
読まなければいけない
のです

目標ドメイン



Day 201 Review 2

- PLAN -> DO -> SEE サイクル
- 計画 -> 実行 -> 評価 (Metrics Based)
- 講義 -> 演習 -> Review



- ROI (Metrics Based)
- 最大のコストは時間 (優れたProposal には、人もお金も集まる)
- Writing Style の演習 4 stage type1 (Writing が重要->Day202)

Day 202

- Listening /Reading と Speaking /Writing について
- Technical Terms
- Writing excise using tech-terms

TOEIC Listening /Reading と Speaking /Writing

英語力測定方法

● TOEIC® Listening & Reading Test

合否ではなく10点から990点までのスコアで評価されます。

このスコアは、常に評価基準を一定に保つために統計処理が行われ、能力に変化がない限りスコアも一定に保たれている点が大きな特長です。

また、スコアに加えScore Descriptors（レベル別評価）とAbilities Measured（項目別正答率）も表示されます。

● TOEIC® Speaking & Writing Tests

ETSの認定を受けた採点者によって採点されます。

些細な文法の間違いや発音のミスなどは、円滑なコミュニケーションの妨げにならない限り、減点対象にはなりません。与えられたタスク(課題)に対し、的確な内容で回答できているかが採点ポイントになります。

各スコアは0点から200点で、10点刻みで表示されます。また、スコアをもとにした評価がProficiency Level Descriptors（能力レベル別評価）として、TOEIC Speaking Testでは8段階、TOEIC Writing Testでは9段階で表示されます。さらに、TOEIC Speaking Testにおいては、「Pronunciation（発音）」、「Intonation（イントネーション）とStress（アクセント）」についてもそれぞれ3段階で評価されます。

入試の英語は、
採点が容易になるよう
に作られています。

Listening/Readingの
評価に比べ
Speaking / Writingの
評価ははるかに難しい

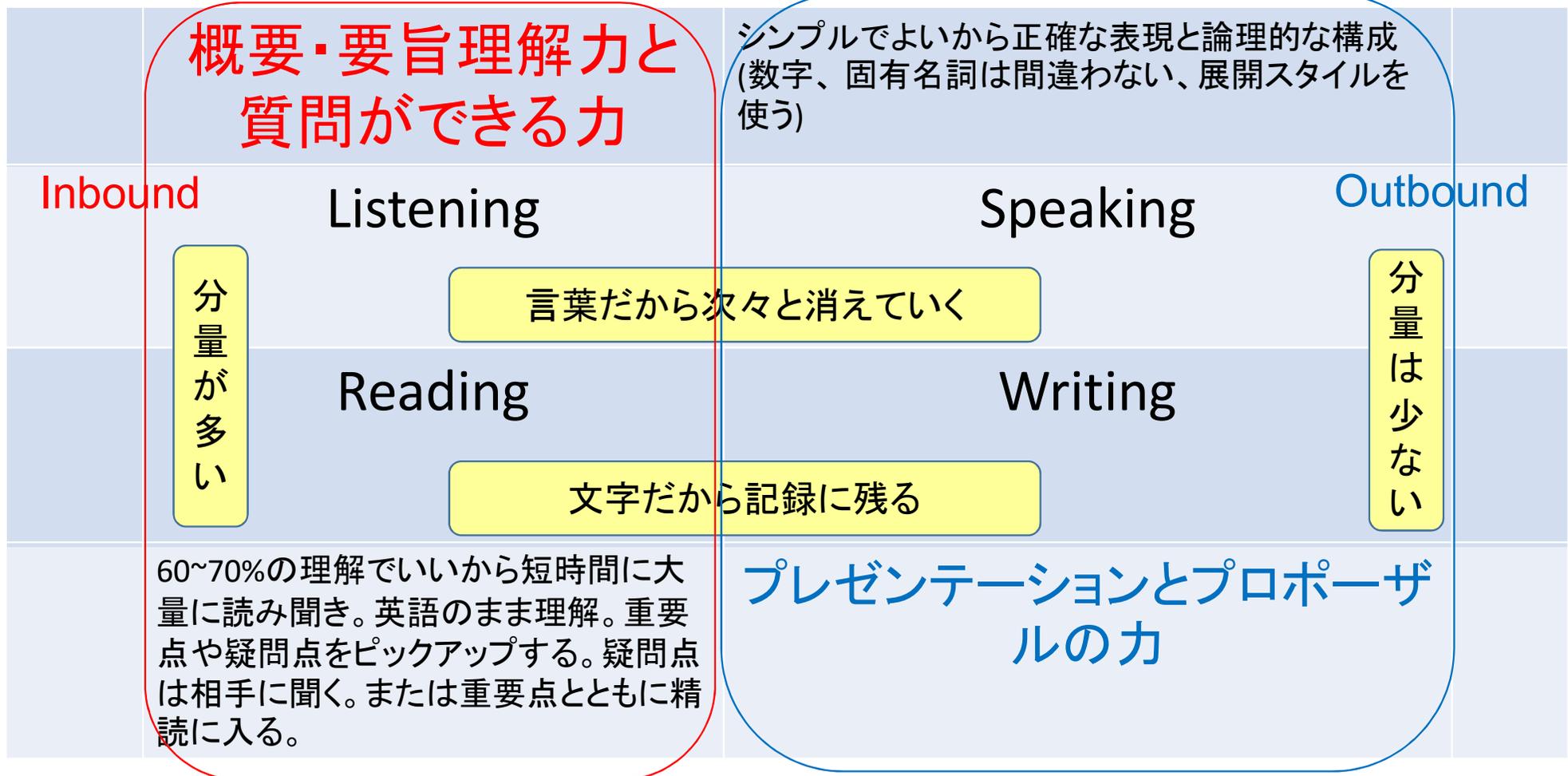
“実戦では、何が出てく
るかわからない”

引用 TOEIC HPから: <http://4skills.jp/qualification/toEIC.html>

英語 4 技能を ROI で整理する

	概要・要旨理解力と 質問ができる力		
英会話	Listening	Speaking	
	分量が多い	言葉だから次々と消えていく	分量は少ない
		Reading	
		文字だから記録に残る	入試の英語
		プレゼンテーションと プロポーザルの力	

英語 4 技能の実戦的なスキル



技術英語基礎(電子・情報)1

- Implementation =実装(回路図から実際の回路にする作業)回路をシリコンチップ上に実現すること
- Ubiquitous =遍く,いつでもどこでも
- Trade-off =二律背反の経済原理(性能と価格)両立しない事柄について諸条件を勘案して妥協する(両者のバランスを取る)
Performance/Power/area Better/Cheaper
- Throughput =一定時間内に処理される仕事量
- Engine =専用処理回路
- Invention =発明
- Innovation =革新
- Paper =論文
- (C) =copyright(著作権)
- ® =trade mark(商標登録)
- Revolution =革命 Evolution =進化

技術英語基礎(電子・情報)2

- Threshold = 閾値(しきいち) = 状態が変化する限界値(電流が流れ始める電圧など)
- Power = 電力
- Power Consumption = 電力消費(消費電力)
- Delay = 遅延時間
- IC = Integrated Circuits = 集積回路
- LSI = Large Scale Integration 大規模集積(回路)
- CMOS = Complementary Metal Oxide Semiconductor 相補型金属酸化物半導体
- Manufacturing = 製造
- Reliability = 信頼性
- Load Capacitance = 負荷容量

技術英語基礎(電子・情報)3

- Patent =特許
- Integration density =集積密度
- Time-to-Market =製品の開発時間 (市場投入が早い)
- Hierarchical design =階層的設計
- Architecture =回路構成
- Characteristics =特性
- Verification =検証 Evaluation =評価
- Documentation =文書化
- Customize =専用化
- Application specific design =特定用途設計
- Parasitic capacitance =寄生容量

技術英語基礎(電子・情報)4

- Deviation = 偏差 Variation = ばらつき
- State-of-the-art 最先端の
- Series 直列/parallel 並列
- Transient 過渡的な/Steady-state 定常的な
- Function = 関数, 機能
- Synchronous = 同期 ↔ asynchronous = 非同期
- Enable = 動作可能にする ↔ Disable = 不能にする
- Dynamic = 動的な ↔ Static = 静的な
- Requirement = 要求
- Specification = 仕様(スペック)

技術英語基礎(電子・情報)5

- Optimization =最適化
- Minimization =最小化
- Conclusion =結論 Consideration =考察

Exercise: EX_202

- EX_202-1 この資料の 技術英語の基礎 1/2/3/4/5 (Slide 11~15)から初めて触れる英単語をすべてリストする。(コピペでなくタイピングで)
- EX_202-2 それらの単語から最低5語(複合語は1つと数える)を選んで自由に英作文(借文)する。Day201 4 stage type1スタイルで書いてもよい。タイトルをつけること。出来上がった英文を翻訳サイトで和訳してみる。
- レポートには、英作文と日本語翻訳文を記載すること。借文の場合は参照を示すこと。使用した翻訳サイトのURLを記すこと。
- 提出はClass Web “レポート” にて水曜まで

英文(論文,社内文書)を書くときのポイント

- 間違えてはいけないもの(誰からでも指摘される)
 - 数字、固有名詞、スペルミス(誤字脱字)
- 明確な結論とそれに至る論理的な解説、定量的思考 (Metrics)
- 簡潔な表現と正しい文法
 - 書き言葉を使うこと
 - 論文や仕様書の書き方から学ぶ
 - まず自分の書いた文に不自然さを感じるようになればよい
 - 続いて、複数の表現からどちらが適切かを選べるようになればよい

Day 201 STE2_POS 再掲

Memo

フォローアップURL (Revised)

<http://mikami.a.la9.jp/meiji/MEIJI.htm>

担当講師

三上廉司(みかみれんじ)

Renji_Mikami(at_mark)nifty.com

mikami(at_mark)meiji.ac.jp (Alternative)

http://mikami.a.la9.jp/_edu.htm

